

GUARDIAN シリーズ

GUARDIAN CorrectMail

ガーディアン コレクトメール



電子メールの 「しまった」を取り戻す

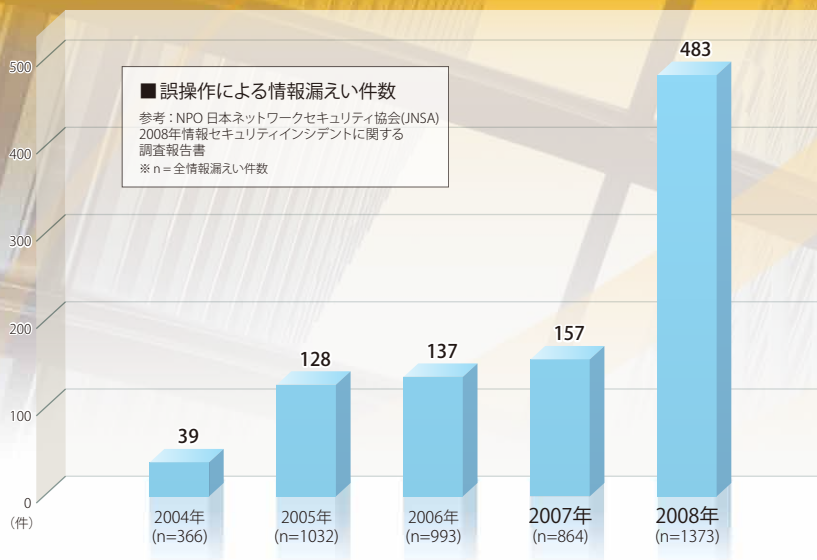
電子メールを送信した後に、「宛先を間違えた」、「添付ファイルを付け間違えた」
などという「しまった」を経験したことはありませんか？

GUARDIAN CorrectMailは、電子メールの「しまった」を取り戻し、
電子メールの誤送信を防止するのに役立ちます。



電子メールを送信してから、「うっかり」「ヒヤリ・ハット」に気がついたことはありませんか？

電子メールは日常欠かせないコミュニケーションツールです。日常的な電子メールの作成や操作にはつい慣れてしまい「うっかりミス」が…。昨今の企業が取り組んでいるISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)の実施や情報漏えい防止対策など「業務の見える化」により、電子メール業務における誤送信の発生件数が増えていることが表面化してきました。そのため、電子メールの誤送信対策を行う企業が増えています。



誤送信はヒューマンエラーであり技術的対応が困難なため、大きな課題となっています。

誤送信の根本対策には「再確認を徹底させる」仕組み作りが必要です

◇ 有効な「誤送信防止」対策とは……………

送信者本人の確認による「誤送信対策」

送信者本人が電子メール送信後に、サーバーに保留された電子メールの内容を再確認する習慣をつくるのが重要です。宛先の間違いや宛先の漏れ、添付ファイルの付け忘れや付け間違いなどに気付くための猶予を設けることで、誤送信のリスクを回避できます。

社内の同報受信者の気付きによる「誤送信対策」

宛先に指定された社内の同報者が受信した電子メールを、外部に配送される前に確認し送信者のミスを発見する仕組みは、誤送信に気付く人の範囲が広がり、より強固に誤送信を防止できます。

上長の承認による「誤送信対策」

上長がサーバーに保留された部下の送信メールを確認し、送信者本人が気付かない「うっかりミス」や、関係者以外へ開示してはいけない情報などが社外に送信される前に予防する仕組み作りが必要です。

負担をかけない「誤送信対策」

直感的に操作できる管理画面など一般利用者でも無理なく利用できる仕組みが重要です。また運用の形骸化を避けるためにルールを設定し、チェック対象を「添付ファイル付の電子メールのみ」、「社外宛の電子メールのみ」など限定することで自己チェックや上長承認の負担を軽減させる必要があります。

GUARDIAN CorrectMailでは次のことができます

自己査閲

GUARDIAN CorrectMailは、送信した電子メールを一定時間保留（配送遅延）することができます。送信者は保留されている電子メールを自分自身で確認し、削除することができます。設定された一定時間を経過した電子メールは、自動で配送されるので送信し忘れることはありません。



社内の同報受信者による発見

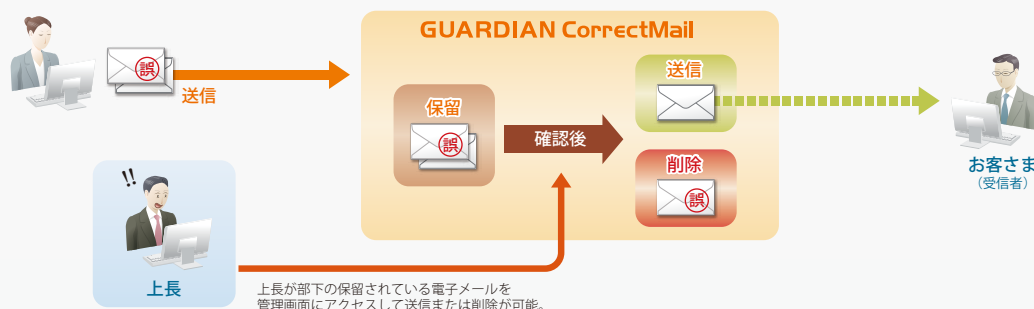
GUARDIAN CorrectMailは、1通の電子メールに社外の宛先と社内の宛先など複数の宛先が含まれている電子メールを分割し、宛先ごとに異なるポリシーを適用可能です。

例えば「社内の部門メンバー宛は5分間遅延させて送信、社外のお客さま宛は30分間遅延させて送信」と設定することで、誤った電子メールが社外のお客さまに配送される前にCcに含まれている社内の部門メンバー（同報受信者）が気付く可能性が広がります。



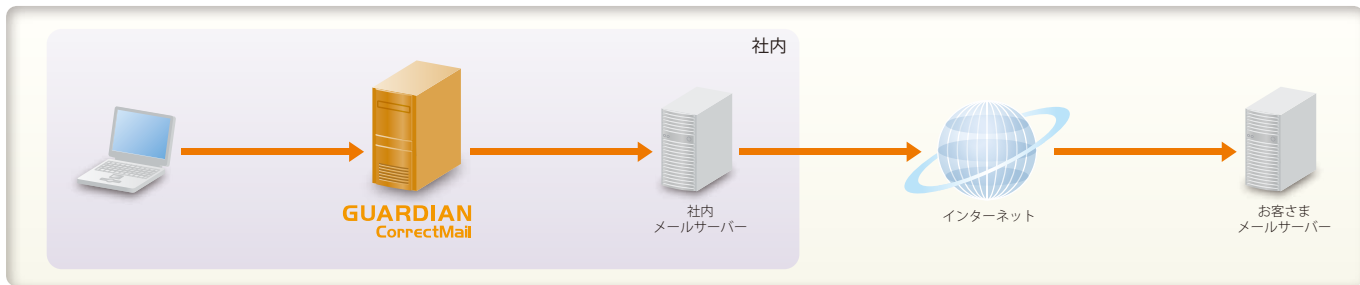
上長査閲

GUARDIAN CorrectMailは、送信した電子メールがルールに合致した場合、その電子メールを保留することができます。上長は部下の保留されている電子メールを確認し、送信または削除することができます。

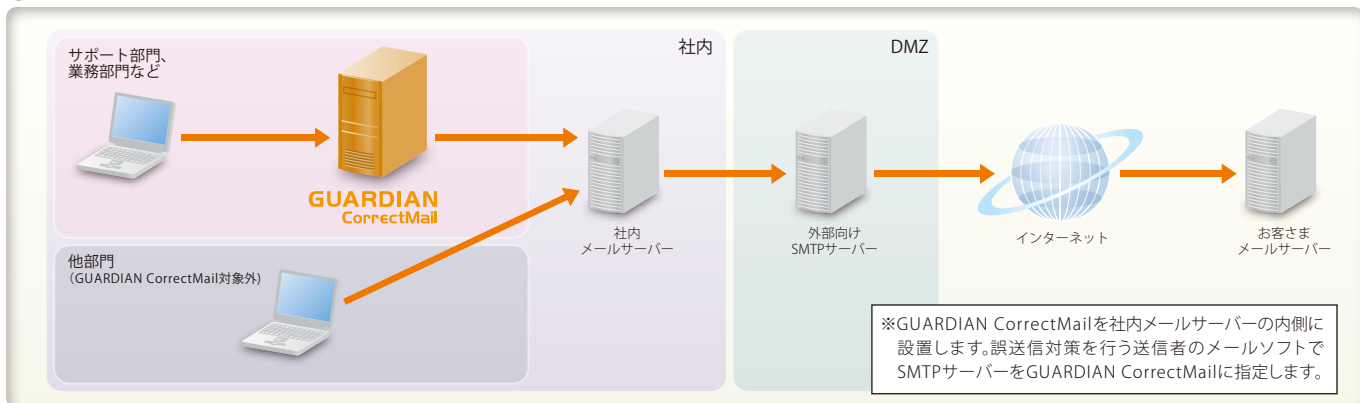


■ システム構成例

① 全社導入



② 部門導入



■ 動作要件

GUARDIAN CorrectMailはソフトウェア製品です。以下の要件を満たすサーバー、クライアント環境が別途必要です。

●サーバー要件

サーバー	要件
OS	Cent OS 5.3以降(64bit版) Red Hat Enterprise Linux 5.3以降(64bit版)
CPU	インテル Pentium プロセッサー 1.80GHz 以上推奨 ※Itanium, Itanium 2は非対応
HDD	システム領域用に空き容量 60GB 以上推奨 その他、保留メールの保存領域が必要
メモリー	4GB 以上推奨
その他	sendmail 8.12 以降が稼動する MTA 環境

上記仕様で推奨する1日あたりのメール流量:約3万通

●クライアント要件

クライアント	要件
対応 Webブラウザ	Windows Internet Explorer 7 Windows Internet Explorer 8 Mozilla Firefox 3.5

■ 製品ラインアップ

製品名	希望小売価格(税別)	年間保守料金(税別)
GUARDIAN CorrectMail (50ユーザー版)	175,000 円	26,250 円
GUARDIAN CorrectMail (100ユーザー版)	350,000 円	52,500 円
GUARDIAN CorrectMail (150ユーザー版)	525,000 円	78,750 円
GUARDIAN CorrectMail (200ユーザー版)	700,000 円	105,000 円
GUARDIAN CorrectMail (250ユーザー版)	875,000 円	131,250 円

※GUARDIAN CorrectMailはソフトウェア製品です。インストールCD媒体で提供します。
 ※GUARDIAN CorrectMailには、初年度から年間保守料が別途必要です。
 ※251ユーザー以上で利用する場合は、別途見積りとなります。

Windows, Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。インテル、Pentium、Itaniumは、米国Intel Corporationの商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の商標です。Mozilla、Firefoxは、米国Mozilla Foundationの商標です。Red Hatは、米国Red Hat Inc.の商標です。仕様は予告なく変更する場合があります。

販売元/

Canon

キヤノン IT ソリューションズ株式会社

セキュリティソリューション事業部

<http://canon-its.jp/>

〒140-8526 東京都品川区東品川2-4-11

TEL : 03-6701-3434 FAX : 03-6701-3471